

あなたに合った“働きたい”を応援!



新型コロナの感染拡大により、対人サービスを中心とする飲食店や宿泊業で就業者数や賃金が減少するなど雇用情勢が大きな影響を受けています。一方で、生産年齢人口減少による人手不足が続く業種も。働きたい方が希望する職業に就けるよう、県ではさまざまな就労支援を行っています。

産業技術専門校 で 学ぶ・身に付ける



若年者向け ものづくりを学ぶ 就職率100%

本県の基幹産業である製造分野での活躍を目指し、機械やIT技術などを1~2年間学びます。企業さながらの充実した設備による実習中心の授業で、経験豊富な講師陣が専門知識や技能を丁寧に指導します。



離職者向け 短期間での職業訓練

2~6カ月の短期間に資格や知識を身に付け、早期の就職を目指します。介護、医療事務、ウェブデザインなど多彩な内容が学べ、中には託児サービス付きのコースも。受講料無料(テキスト代等は自己負担)で受けられます。

所在地

- 県央産業技術専門校: 宇都宮市平出工業団地48-4
- 県北産業技術専門校: 那須町大字高久甲5226-24
- 県南産業技術専門校: 足利市多田木町76



わざが〜る 技女子には技がある!



県央産業技術専門校 学生の皆さん

県央産業技術専門校では、女子学生を「わざが〜る 技女子」という愛称で呼び、彼女たちの「ものづくり」への挑戦を応援しています。

入校のきっかけ

「大工の祖父が家を建てる姿を見て、自分も建築関係の仕事がしたいと思った」と身近な人に憧れた学生もいれば、「趣味のアクセサリー作りからものづくりに興味を持った」と好きなことをきっかけに入校した学生も。

授業を受けてみて

「授業は充実した設備を使っての実習が中心で、初めは見慣れない大きな機械や工具の操作に戸惑ったけど、優しい先生の手厚いサポートで技術がどんどん身に付いていくのを実感している」「たくさんの資格を取得できるのは大きな魅力」と話す姿は楽し気。



将来の夢

「自分で思い描いたものを設計し、製品にして世の中に出せる技術者になりたい」「資格を取ってさらに技能を高めて、将来長くこの道で働いていきたい」と、皆さん目を輝かせながら卒業後の夢を語ってくれました。

とちぎジョブモールでのサポート

若年者をはじめ、中高年齢者や障害のある方など、さまざまな求職中の方に向け、個々の能力・特性を踏まえたキャリアカウンセリングや就職活動へのアドバイスなどを通じて、職場定着までワンストップで支援しています。

面接会や就職に関するセミナーの開催

女性や高齢者等の就業を促進するため、企業の人材確保や職場環境改善のサポートを行っています。県内各地で就労意欲を喚起するセミナーや出張相談、企業との面接会のほか、就職後のフォローアップまでコーディネーターが一体的に支援しています。



スマホから随時チェック!

県内の就職活動に役立つ情報を掲載

WORKWORKとちぎ

マイカレンダー等、多彩な機能で就職活動情報を一括管理

とちまる 就活アプリ

このほかにも県ホームページに情報掲載!



山地防災を考えよう

5~10月の梅雨時期から台風シーズンは大雨により山崩れ、土石流、地滑りなどの山地災害が起こりやすく、昨年7月には静岡県熱海市でも梅雨前線に伴う豪雨により土石流が発生し、甚大な被害が生じました。県土の半分を山地が占める本県でも自然災害は身近に起きる可能性があります。自らの命を守るには一人ひとりの日々の心掛けが大切となるため、今回は今すぐ実践できる3つのことをご紹介します。

CHECK 1

過去の災害を知ろう!
~本県で発生した大規模な山地災害~

大きな被害が頻発しています

平成27年9月 関東・東北豪雨災 令和元年10月 東日本台風災



- 死者3名
- 林地崩壊124件

土砂崩れ、水害等による被害状況

- 死者4名
- 林地崩壊146件

CHECK 2

山地災害の8つの危険信号に注意しよう!

以下の信号を見つけた場合は身の安全の確保を



CHECK 3

日頃から備えよう! ~今から始める防災対策~

山地災害に限らず、災害全般で応用できます

その1 身近な場所の危険度を確認しよう

各市町のハザードマップや山地災害危険地区が分かる「とちもりマップ」から危険な場所を確認しておきましょう。

←県ホームページ「各市町のハザードマップ」

※とちもりマップはパソコンからの閲覧がお勧めです
とちもりマップ 検索

災害に備えた対策はこちら



その2 避難場所・避難経路を調べよう

いざというとき、どこを通過してどこに避難するか知っておくことが大切です。家族でどこに避難するか普段から話し合っておきましょう。



その3 非常持ち出し品を準備しよう

避難行動に備えて以下を準備しておきましょう。

- 飲食料 □ 医薬品 □ 衣類 □ ラジオ
- 懐中電灯 □ 感染対策グッズ など

また、非常持ち出し品は両手が見えるリュックサックに入れましょう。



ピックアップ

県公式LINEで防災情報を入手!

LINEのメニューから簡単にハザードマップや避難所情報などが閲覧できます

友だち登録の方法等詳しくはこちら

